

事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)	
巽 真理子	(代表者名:)
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
『イクメンじゃない「父親の子育て」——現代日本における父親の男らしさとくケアとしての子育て——(仮)』の出版	
3. 助成額	
200,000 円	
4. 実施期間	
2017年 7月 ~ 2018年 5月	
5. 実施状況	
<p>2017年 11月 晃洋書房へ原稿提出</p> <p>12月 晃洋書房へ修正原稿提出</p> <p>2018年 2月 初校チェック</p> <p>4月 最終校正チェック</p> <p>5月 晃洋書房より、第一版第一刷発行</p>	
6. 事業成果と自己評価	
<p>造本:四六判、並製本、カバー装(4色刷)、206頁</p> <p>定価 2,400円(税別)、部数 1,200部</p> <p>本書では、現代日本における「父親の子育て」にまつわる複雑で多角的なジェンダー規範を、父親の男らしさとくケアとしての子育てから明らかにし、「くケアとしての子育て」と現代日本のジェンダー規範との2つのジレンマを示すことができた。これにより「父親の子育て」がもつ母親とは異なるジェンダー規範を示し、多様な「父親の子育て」への新しい視点を提供できた。</p> <p>子育てにおけるジェンダー平等を達成するためには、親自身はもちろん、親を支援する専門家・実践者もジェンダー視点をもつことが重要である。そのため本書の知見を、育児研究者はもちろん、研究者ではない子育て支援専門家・実践者(保育士・幼稚園教諭やNPOなど)に対しても広く知らしめるため、学位論文を大幅に修正し、本書を「読みやすい研究書」になるようにした。また晃洋書房の協力により、申請時よりも定価を安く(2,800円→2,400円)、出版数を多く(800部→1,200部)することができ、より多くの人に手に取ってもらえる形で出版できた。</p>	